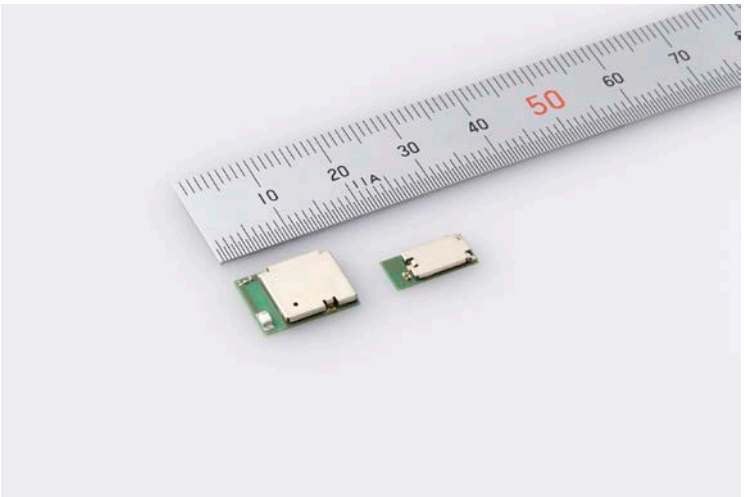
News Release　　2015 年 9 月 24 日

太陽誘電：*Bluetooth*® Smart モジュールのラインアップ拡充

－当社ウェブサイトにソリューション提案ページを開設、機器の選定を容易に－



太陽誘電株式会社（代表取締役社長：綿貫　英治、本社：東京都台東区）は、*Bluetooth*®（※1）Smart（※2）モジュール「EYSGCN」シリーズ（9.6x12.9x2.0mm）と「EYSGJN」シリーズ、「EYAGJN」シリーズ（いずれも 5.1x11.3x1.3mm）の合計 7 アイテムを商品化します。

これらの商品は、ヘルスケア機器、ウエアラブル端末やスマートフォン周辺機器などさまざまな小型・薄型機器に最適な商品で、無線通信規格の一種である *Bluetooth*® v4.2 low energy（*Bluetooth*® Smart）に対応した無線通信モジュールです。

Bluetooth® Smart は、スマートフォンへの搭載やビーコン（注 1）などの新しい機能の誕生により、搭載される機器の種類や数が急速に増えています。しかし、機器ごとに無線回路を設計すると開発コストが増え、一方でモジュール化すると機器ごとに必要な機能だけを搭載することができず、最適な機能を選択することができませんでした。

そこで太陽誘電は、お客様からの多様なニーズに応えられるよう、小型タイプや当社オリジナルソフト搭載タイプなど合計 7 アイテムを商品化し、当社 WEB サイト『*Bluetooth*® Smart』のソリューション提案ページに掲載いたします。当ページには、お客様のニーズに合ったモジュールを選択できる『最適モジュール選択チャート』も掲載し、最適な商品をご提案いたします。

これらの商品は、日本国内にて月産 100 万個体制で 2015 年 9 月から量産を開始します。当社サンプル価格は、各アイテムともに 3,000 円（※3）です。

Bluetooth®の規格のひとつである *Bluetooth*® v4.2 low energy（*Bluetooth*® Smart）は、非常に省電力な通信規格です。そのため、ヘルスメーターや血圧計などのヘルスケア用品、活動量計などのウエアラブル端末など、さまざまな機器へ急速に採用が進んでいます。また、「ビーコン」と呼ばれる *Bluetooth*® Smart の機能を利用したさまざまなサービスの登場により、*Bluetooth*® Smart の搭載機器数は急速に拡大しています。

また、それぞれの機器やお客様の要望の多様化に伴い、*Bluetooth*® Smart モジュールには、サ

イズやメモリ容量などより細かな商品ラインアップが求められています。

そこで太陽誘電は、アンテナに加え、32.768kHz 水晶振動子 DC-DC コンバータ用のコンデンサやインダクタも搭載した「EYSGCN」シリーズや、より小型化した「EYSGJN」シリーズ、*Bluetooth*® Smart に加え ANT™(注 2、※4)規格をサポートした「EYAGJN」シリーズ、当社オリジナルのソフトウェアを搭載した「EYSGCNAWY-1X」、「EYSGJNAWY-1X」など、7 アイテムを商品化しました。

今後も市場からのニーズに応え、高機能化・小型・低背化などさらなるラインアップ拡充を進めてまいります。

※1 *Bluetooth*®ワードマークとロゴは、Bluetooth SIG,Inc.が所有しており、ライセンスに基づき太陽誘電株式会社が使用しています。
※2 「*Bluetooth*® Smart」は Bluetooth SIG,Inc. によって規定された規格です。
※3 掲載のサンプル価格は当社の販売サンプル価格になります。代理店経由のご購入を検討の際は、各代理店へお問い合わせ下さい。
※4 ANT™は米国およびその他の国における Garmin Switzerland GmbH の登録商標または商標です。

■ 用途

ヘルスケア機器、ウエアラブル端末やスマートフォン周辺機器など多様な小型・薄型機器向け無線通信モジュール。

今回商品化した *Bluetooth*® Smart モジュールの主な特性は以下の通りです。

<table>
<tr><th>Part Number</th><th>Size
(L×W×H)</th><th>Specification</th><th>ANT™
規格
対応</th><th>I/F</th><th>RAM
(kB)</th><th>Certification</th><th>Temperature</th></tr>
<tr><td>EYSGCNZXX</td><td rowspan="2">9.6×12.9
×2.0mm</td><td rowspan="7">V4.2
BLE
Single
Slave/
Master</td><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">UART
SPI
I²C</td><td>16</td><td rowspan="7">Japan
FCC
IC</td><td rowspan="7">-25～
+75℃</td></tr>
<tr><td>EYSGCNZWY</td><td>32</td></tr>
<tr><td>EYSGJNZXX</td><td rowspan="3">5.1×11.3
×1.3mm</td><td>16</td></tr>
<tr><td>EYSGJNZWY</td><td rowspan="2">32</td></tr>
<tr><td>EYAGJNZXX</td><td>●</td></tr>
<tr><td>EYSGCNAWY-1X</td><td>9.6×12.9
×2.0mm</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">UART</td><td rowspan="2">N/A</td></tr>
<tr><td>EYSGJNAWY-1X</td><td>5.1×11.3
×1.3mm</td></tr>
</table>

■用語解説

(注 1)ビーコン

広義では位置情報の伝達手段やそれらが設置された施設を指し、燈火、無線その他の方式が用いられる。非常に低消費電力な *Bluetooth*® Smart を利用したサービスとしては、無線で周囲のスマートフォンにクーポンや道案内、商品説明を配信したり、見守りタグとして使われる。

(注 2)ANT™

カナダの Dynastream Innovations Inc.が開発した低消費電力な無線通信規格のこと。ツリー型やメッシュ型の無線ネットワークに対応している。